

A decorative graphic consisting of several horizontal, wavy bands of varying shades of blue, flowing from the left side of the page towards the right.

2011年度  
エコアクション21  
環境活動レポート  
【活動期間 2011年4月1日～2012年3月31日】

## 1、環境方針

### ●基本理念

環境に優しい製品づくりを基本理念とし、  
豊かな自然を次世代に残すため、地球環境の維持、  
向上に貢献していきます。

### ●行動指針

1. 環境負荷の低減を推進するとともに、環境マネジメント活動を実施し継続的な改善・向上を図ります。
2. 環境に関する法令、条例、協定その他要求事項を遵守します。
3. 事業活動において下記項目に対して積極的に行っていきます。
  - ① 環境に配慮した製品提供
    - ・環境に配慮した原材料を優先に使用、製品開発を行います。
  - ② 製品における環境負荷化学物質含有量把握と管理体制の構築
    - ・自社製品及び社外から購入する部品等について、化学物質含有量把握を進めて行きます。
    - ・外部から製品の環境負荷に関するデータの提供の依頼があった場合、協力出来る様管理体制の構築をしていきます。
    - ・現在含有量把握率およそ 70%、2 年先を目処に全商品データ 100%把握と管理体制が構築出来る様進めていきます。
  - ③ CO2 の削減
    - ・購入電力量、水、ガス等の削減
  - ④ 廃棄物の削減及び再資源化の推進
    - ・廃棄物排出量の削減
  - ⑤ コピー用紙等のグリーン購入の推進
4. 従業員の環境方針に対する理解と、環境に関する意識向上を図ります。
5. 社内外に広くコミュニケーションを図り、必要な情報を開示します。

制定日：2011 年 3 月 1 日  
株式会社 キョーパル

## 2、会社概要

### ●組織の概要

#### (1) 名称及び代表者名

株式会社キョーパル  
代表取締役社長 北村雅司

#### (2) 所在地

〒600-8895  
京都府京都市下京区西七条東石ヶ坪町 24  
TEL：075-326-2580  
FAX：075-326-2581  
URL：<http://www.kyopal.co.jp/>

#### (3) 設立：平成3年（1991年）5月

#### (4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者：製造管理グループ製造管理担当 田邊 奈緒美  
TEL:075-326-2580

担当者：製品企画・開発グループ 尾上 貴彦  
TEL:075-326-2580

#### (5) 事業内容

- ・オリジナルLSIの開発・製造・販売
- ・各種制御システムの開発・製造・販売
- ・制御システムソフトウェアの開発・サポート

#### (6) 事業の規模

資本金：3,000 万円  
売上高：103,126 千円（2011 年度）  
従業員数：8 人（2012 年 2 月現在）  
事業所延べ床面積：525.11 m<sup>2</sup>

#### (7) 事業年度：4 月～3 月

### ●認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社キョーパル

- 活動：
- ・オリジナルLSIの開発・製造・販売
  - ・各種制御システムの開発・製造・販売
  - ・制御システムソフトウェアの開発・サポート

### 3、環境目標と実績

#### (1) これまでの環境負荷実績（4月～3月）

項目		単位	2009 年度	2010 年度
二酸化炭素排出量 ※1	購入電力	(kg-CO2)	12,203.17	12,217.81
	都市ガス		37.95	27.41
	ガソリン		835.89	716.39
	計	(kg-CO2)	13,077.01	12,961.61
廃棄物 排出量	産業廃棄物	t	0.1	0.1
	一般廃棄物	L	0 ※2	1310 ※3
総排水量	水使用量	m3	85	68
グリーン購入		品目	※4	※4
環境配慮生産量／生産量 (%)		千円	※4	※4

※1. CO2 排出係数は、購入電力：0.366、都市ガス：0.0513、ガソリン：0.0671 を用いて算出

※2. 2010 年度 9 月より計測開始のため実績値はありません

※3. 2010 年度 9 月より計測開始のため 9 月以降の実績値です

※4. 実績値なしのため未記入

(2) 環境目標と実績

・短期目標と実績 (4月～3月)

項目		単位	基本年度 (2010年度)	2011年度	
			実績	※1 目標	実績
二酸化炭素排出量 ※1	購入電力	(kg-CO2)	12,217.81	12,095.63	9,864.80
	都市ガス		27.41	27.14	25.30
	ガソリン		716.39	709.23	828.46
	計	(kg-CO2)	12,961.61	12,832.00	10,718.56
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	0.1	0.1	0.06
	一般廃棄物	L	3,930 ※3	3,734	135
総排水量	水使用量	m3	68	67.32	64
グリーン購入		品目	※4	※4	※4
環境配慮生産量／生産量 (%)		千円	※5	※5	30,760/44,941 (68%)

※1. CO2 排出係数は、購入電力：0.366、都市ガス：0.0513、ガソリン：0.0671 を用いて算出

※2. 目標値

- ・購入電力、都市ガス、ガソリン、水使用量については基本年度実績から▲1%として設定
- ・一般廃棄物については基本年度から▲5%として設定
- ・産業廃棄物については最小限しか排出していないため、現状維持として設定

※3. 2010年度9月より計測開始し、9月から12月までの記録しかないため

4か月間の合計を3倍したものを年間実績としています。

※4. 調査中のため未記入

※5. 2011年度を基本年度とする

・長期環境目標（4月～3月）

項目		単位	基本年度 (2010年度)	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
※2 二酸化炭素排出量 ※1	購入電力	(kg-CO2)	12,217.81	12,095.63	11,973.46	11,851.28	11,729.10
	都市ガス		27.41	27.14	26.86	26.59	26.31
	※5 ガソリン		716.39	709.23	702.07	694.90	687.74
	計	(kg-CO2)	12,961.61	12,832.00	12,702.39	12,572.77	12,443.15
※3 廃棄物 排出量	産業廃棄物	t	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	一般廃棄物	L	3,930	3,734	3,537	3,341	3,144
※2 総排水量	水使用量	m <sup>3</sup>	68	67.32	66.64	65.96	65.28
グリーン購入		品目	※6	※6	※6	※6	※6
環境配慮生産量／生産量 (%)		千円	68% ※7	68%	70%	75%	80%

※1. CO2 排出係数は、購入電力：0.366、都市ガス：0.0513、ガソリン：0.0671 を用いて算出

※2、目標値は基本年度から▲1%として設定

※3、産業廃棄物の目標値は最小限しか排出していない為、現状維持

※4、一般廃棄物は前年度から▲5%として設定

※5、ガソリンについては事業活動状況で大きく変動するため参考値として記載

※6、調査中のため未記入

※7、2011 年度を基本年度とする

## 環境活動の数値結果

項目		単位	基本年度 (2010 年度)	2011 年度			
			実績	※3 目標	実績	目標値との比較	評価
二酸化炭素排出量 ※1	購入電力	(kg-CO2)	12,217.81	12,095.63	9,864.80	▲18%	○
	都市ガス		27.41	27.14	25.30	▲7%	○
	ガソリン		716.39	709.23	828.46	17%	×
	計	(kg-CO2)	12,961.61	12,832.00	10,718.56	▲16%	○
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	0.1	0.1	0.06	▲40%	○
	※1 一般廃棄物	L	3,930	3,734	135	▲96%	○
総排水量	水使用量	m3	68	67.32	64	▲5%	○
グリーン購入		品目	※2	※2	※2	※2	※2
環境配慮生産量／生産量 (%)		千円	※3	※3	30,760/44,941 (68%)	※3	※3

※1. CO2 排出係数は、購入電力：0.366、都市ガス：0.0513、ガソリン：0.0671 を用いて算出

※2. 調査中のため未記入

※3. 2011 年度を基準年度とする

## 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>			
数値目標	◎	■上方修正 □下方修正 □基準見直し	
チェックシートの活用	◎	継続	節電効果が見られたため、継続して実施していく。 2012年度を目処に休日や夜間のOA機器OFF(待機電力)を検討する。 2013年度以降を目処に、LED蛍光灯の導入や、省エネエアコンの導入を検討する。
離席時のモニターOFF	○	継続	
作業場に別メータ導入	◎	継続	
LED蛍光灯導入	◎	継続	
省エネエアコン導入	◎	継続	
<b>都市ガスによる二酸化炭素排出量の削減</b>			
数値目標	◎	■上方修正 □下方修正 □基準見直し	
無駄遣い防止の徹底	◎	継続	2012年度以降はお湯の適正温度使用や、沸かしすぎ防止タイマ導入によりガスの使用量を低減する
<b>自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減</b>			
数値目標	×	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し	
アイドリングストップ	△	継続	事業活動により、車の使用量が増えたため目標達成できず。2012年度以降に事業活動量に対するガソリン使用量を把握できる仕組みを検討し、エコ運転によるガソリン使用量の低減が分かるようにする。エコ運転セミナーを実施する。
低燃費車に買換え	◎	完了	
<b>産業廃棄物の削減</b>			
数値目標	◎	■上方修正 □下方修正 □基準見直し	
不用品購入の防止	◎	継続	2012年度以降も産業廃棄物に関するセミナーを開催し、継続して意識を高める
産業廃棄物セミナー実施	◎	継続	
<b>一般廃棄物の削減</b>			
数値目標	◎	■上方修正 □下方修正 □基準見直し	
紙の両面使用の徹底	◎	継続	紙の使用量を大幅に削減でき、一般廃棄物を削減できたため、継続して活動を実施していく。 2012年度以降に生ゴミ処理機の導入を検討
機密書類は破砕し梱包材	◎	継続	
古紙回収による再資源化	◎	継続	
ペーパーレス化	◎	継続	

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
<b>水使用量の削減</b>			
数値目標	◎	■上方修正 □下方修正 □基準見直し	
節水の徹底	◎	継続	2012年度以降、掃除用タライの使用、植物用に雨水の確保、節水コマの導入を検討
<b>グリーン購入</b>			
数値目標	△	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し	
購入割合の把握	△	継続	2012年度以降に、事務用品などの全体購入品目のうち、グリーン購入品目の割合がわかる仕組みを検討。グリーン購入セミナー実施。
対象商品の優先購入	△	継続	
<b>環境配慮製品生産量</b>			
数値目標	○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し	
新製品の RoHS 対応	◎	継続	2012年度以降、既存製品についてもお客様と積極的に調整し、RoHS 対応を進める。
既存製品の RoHS 対応	△	継続	

#### 【総評】

ガソリンの使用量以外については、目標を達成することができた。

特に一般廃棄物については古紙のリサイクル化や機密書類の梱包材利用、書類の電子化によるペーパーレス化などを実施したことで大幅な削減が見られた。

ガソリンの使用量については事業活動で車の使用頻度が増えたことが原因とみられる。これは事業を行う上で必要なものであり、大幅な削減は非常に困難であるが、アイドリングストップやエコ運転を心がけ、少しでも削減できるよう努力をしていく必要がある。

グリーン購入については来期以降、品目ごとの割合で管理していけるような仕組みを構築する必要がある。

環境配慮生産量については今年度を基準年度とし、来期以降の目標達成に向けた製品の切換え対応を随時実施していく必要がある。

【環境関連法規制等の遵守状況】

環境関連法規について遵守状況を確認した結果、違反はありません。また、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟は過去3年間ありません。

法規制等の名称	要求事項	順守評価
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	○
	産業廃棄物 マニフェスト/証明書管理	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器を排出する際のリサイクル料等の支払い	○
消防法	消火器の設置基準と管理	○
リサイクル法	使用済み物品の分別回収の促進など 指定する業種及び製品について規定	○
PCリサイクル法	PC メーカー、または引取業者へ引渡し、リサイクル	○
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し、リサイクル	○

●その他海外向け関連規制

REACH 規則	化学物質の総合的な登録、評価、認可、制限の制度	各国の環境関連法 に関して要求事項と されている特定有害 物質の含有量の把 握と法令の動向及び 最新情報の把握に 努める。
RoHS 指令	電気・電子機器における特定有害物質の使用制限	
韓国版 RoHS	電気・電子製品および自動車の資源循環に関する法律	
中国版 RoHS	電子情報産品汚染制御管理法	

【代表者による全体評価・見直し】

2010年度より環境マネジメントシステムの構築の為、エコアクション 21 の取組を開始致しました。

今期は、電力量の削減の為に省エネ設備の導入、ガソリンの消費量を抑えるためにハイブリッドカーの導入を致しました。

また、ペーパーレス化による紙の使用量を減らすことで、一般廃棄物についても大幅な削減が出来たと考えております。

今後の対応につきましては、

- ・生ゴミ処理機の導入による一般廃棄物の削減検討
- ・車の使用量に対するガソリン消費量の把握
- ・グリーン購入の購入割合を把握できる体制作りの検討
- ・環境配慮未対応製品の切換え検討

を進めてまいります。

2012年3月30日  
株式会社 キョーパール  
北村 雅司

【添付資料】



事務所照明の LED 化  
不要な照明の OFF



産業廃棄物保管場所に  
掲示板を設置



1 階製造現場用に別途電気メータを設置し  
製造増減による消費電力を把握